

平成 30 年度事業報告書 (なんぶ エリア)

1 平成 30 年度総括 (成果、反省等を簡単に)

- 1) 尚徳中学校 3 年生を中心に学習支援活動を本年度も実施(延 352 名参加)。既卒者の参加も継続支援を行う事で、受講者から講師役へと繋がるよう対応している。
- 2) 高齢化率が急伸している永江地区に、自治会組織と共同して包括支援センターの相談室を設け、住民の身近な相談に対応できる体制を作った。ここを拠点とした各種活動を展開している。
- 3) 介護周辺業務を担う高齢者の「介護助手」を多数採用し、介護人材の不足を補うとともに高齢者の雇用機会を増やした。

2 トピックス (新規事業、重点実施事業等 (独自で実施している地域貢献活動含む))

- 1) なんぶ幸朋苑圏域内の高齢化率が 36.7%と市内最高率となる一方、介護認定率は最低率となる。長年介護予防事業に注力してきた活動が地域に定着してきた。
- 2) 「優しいまちづくり」活動を開始、地域ボランティアの育成や共助事業に繋がる施策に着手。
- 3) 在宅医・外部事業所との情報連携システム・バイタルリンク導入(訪問看護)。
- 4) 日野川水害タイムライン作成協力。
- 5) 空調機取り替え工事実施。経費削減に大きく寄与。
- 6) 特養「ロボット補助事業」にて、パルロ導入。

3 エリア目標の達成度合とその評価 (戦略会議の資料等)

- 1) 急性期病院からの患者受け入れ(入口)に向けたアセスメント入所と施設、在宅(出口)への利用者受け入れ体制構築:医療機関入院中の利用者紹介件数 平成 29 年度期 153 件(利用開始率:28.7%)、平成 30 年度期 128 件(利用開始率:24.2%)若干の減少傾向。医療機関紹介件数、前年比で目標値未達。
- 2) 在宅事業所間での利用者情報の共有、利用者獲得に対しての検討会(月例在宅会議・月例なんぶ幸朋苑相談員共有会議)を開催、各事業所相談員がなんぶ幸朋苑全体での利用者獲得に繋げる:なんぶ幸朋苑在宅会議での各事業所からの空き状況も共有がされるようになり、各相談員が把握して都度アナウンスできる状況は作れている。新規利用者合計 408 人。(平成 29 年度 256 人の 114.6%を達成)
- 3) 「優しさシート」を活用し、注意しあえる環境を作ることにより、法人アンケートの 1 (挨拶について) と 7 (関わりについて) の項目を改善する:「優しさシート」12 項目を各事象所で 5 段階評価や自他者評価を実施。他者評価することで接遇を意識できた。法人アンケートの 1 (挨拶について) と 7 (関わりについて) の項目についても 1 は「不満」回答が 0 となり、7 も 4→3 と減少。
- 4) 効率的な作業環境整備を行う。物品や書類探しにかかるムダな時間を省くため、5S の継続、見える化し効率化を図る:各事業所の取り組みにより、後期改善した件数が 12 件。前期・後期改善数合計 25 件。各事業所で年間 2 件以上の改善が目標であり、目標は達成。
- 5) 各事業の生産性(作業効率)を上げる為、業務分析を行い介護、作業等分類化を行い。業務改

善となんぶ幸朋苑全体でカバーできる体制を作る：特養：会議等事前の打ち合わせをサイボーズ内で実施。特養・老健：排泄物品の定数管理実施。その他、PC を使った記録の簡素化に 11 件取組み。DS:書類の PC 管理増。訪問系:タブレットをモデル的に活用する範囲を拡大した。又、エリアとして営繕担当職員を増員し、各事業所職員が行っていた作業を担当。介護と作業の分担も整理し介護助手等 5 名採用した。

6) iPad や PC 等を活用した記録簡素化、事業所間での記録共有を目指して、各事業所共通の手順や書式の統合を行なう：リハビリが提供した情報提供書をネットワーク上でシェア、生活機能向上連携加算を算定できている。ヘルパーの記録アプリを使った情報共有システムを運用中だが、内部利用は進まず。訪看が外部連携で稼働中の別システムも別に稼働している。

7) 開かれた施設としての地域ボランティア受け入れ、ボランティア活動場所の提供：レクリエーション、傾聴、軽作業等定期的なボランティアは継続して来苑あり、地域住民の活動の場としての役割も果たすことが出来ている。不定期で、園児・学生・演芸等のボランティアの受け入れも前年並みで出来ている。今後も行事等の企画を通しボランティアの受け入れを行い、定期的な活動につなげていく。地域ボランティア受け入れ数 述 860 名。(昨年度 714 名)

8) 永江地区を拠点としてボランティアの育成を組織化するため研修会の開催：尚徳地域(4 地区)で「優しい地域づくり」研修会を 7, 8, 9 月と開催し、住民参加型で自分たちの地域について講師を招きワークショップ形式で研修を行うことができた。それを受けて 2 月には市、社会福祉協議会の企画にて行われた 4 地区の福祉懇談会(福祉計画策定のための)に「優しい地域づくり」の参加者の代表 3 名ずつ参加してもらった事とした。(生活支援体制整備事業についての協議体に向けて) →米子市のモデル

9) 共生ホームでの子育て支援(お母さんの寄合所、成実小学校児童の過ごす場所など)：共生ホームを地域の方、子供達に周知してもらえようオープンハウスを 7 月 12 月に企画開催が定着。7 月小学生 24 名、サポーター 9 名、父兄 2 名参加。(作品作り、かき氷) 12 月焼き芋交流、小学生 26 名、サポーター 4 名参加。

10) ノーリフティングポリシーの全事業所の意識向上研修(事業所内、伝達研修など含む)や OJT 研修：3 回のなんぶ幸朋苑月例研修にて延べ 62 名(全事業所から)参加があり、ノーリフティングポリシーの全職員への浸透がみられている。基準書を基に動画を作成し、動画を用いた研修の取り組みや実技試験を行なうなどし、福祉用具の使用頻度があがった。特養にて抱え上げ回数調査を行い、特に入浴場面で抱え上げる回数が多いことが分かった。職員の腰痛有訴率は全体として減少(平成 28 年度平均 68.3%→平成 29 年度平均 57.4%→平成 30 前期 56.9%) 10 月：特養・老健各 1 台ずつリフト購入済み。

4 入所系事業所(デイハウスは登録人数)の稼働率の推移(稼働率：小数点第 1 位)

事業所名	定員(人)	平成 30 年度(%)	平成 29 年度(%)	平成 28 年度(%)
ユニット型介護老人福祉施設	24	99.1	97.9	99.2
介護老人福祉施設	80	99	98.9	99.1
ユニット型介護老人保健施設	44	87	89.6	88.5

介護老人保健施設	36	87.5	89.0	89.2
ケアハウス	50	98.4	99.4	97.4
グループホームなるみ	27	98.4	98.8	98.8
デイハウスごせんごく	29	93.9	94.5	95.4
デイハウスくずも	25	90.7	84.4	84.0
ビスターレごせんごく	10	95.8	83.8	104.2
生活支援ハウス	20	94.3	88.2	98.3

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<ul style="list-style-type: none"> ○初詣 ○花見 ○夏まつり ○長寿を祝う集い ○供養会 ○運動会 ○紅葉見学 ○年忘れ会 ○もちつき大会 ○防災非難訓練 ○水難防災避難訓練 ○学習支援 ○ごせんごく十三夜の夕べ（地域・ボランティア他 50 名参加） ○奥谷自治会活動参加/地区運動会/子どもみこし/除草作業 /成実保育園との交流/地域の方参加の防災訓練（なるみ）
エリア内研修状況 回数 184回 延べ人数 1,763人	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎研修 ○9つの介護基準 ○防災(火災、水害) ○口腔ケア ○排泄 ○リスク(KYT) ○救急法 ○看取り ○接遇 ○コミュニケーション ○嚥下 ○脱水 ○入浴 ○認知症 ○食のあり方 ○服薬 ○骨折 ○表皮剥離 ○褥瘡・スキンケア ○移乗技術 ○ノーリフティング ○手洗い ○身体拘束 ○医療に関すること ○DCM ○個人情報・プライバシー ○病気と症状、対応について ○PCM ポンプ研修会 ○栄養スクリーニング加算について ○労働災害 ○労務管理 ○フットケア ○ゆりりん勉強会 ○食中毒 ○感染症 ○エルダー発表会 ○施設設備 ○タブレットで動画をとり研修会実施 等
エリア内会議、委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> ○なんぶ幸朋苑エリア内調整会議 ○衛生委員会 ○職員会議 ○ふれあいの橋の会 ○ISO委員会 ○リスクマネジメント委員会 ○入浴委員会 ○ケアプラン委員会 ○食事検討委員会 ○研修委員会 ○排泄検討委員会 ○地域交流委員会 ○褥瘡予防 ○感染予防対策委員会 ○リーダー会 ○チーム会 ○なんぶ幸朋苑エリア看護師会 ○在宅会議 ○広報誌委員会 ○苦情解決第三者委員会 ○環境委員会○ノーリフティング委員会 ○エリア共有ケース会議 ○ケアカンファレンス会議（随時） ○毎月なるみ通信発行（GH）
委員会活動等の 成果・実績・反省	<ul style="list-style-type: none"> ○看護師会：情報共有・感染予防（講義、感染症ラウンド実施し対策と改善を実施、感染症対応のDVD作成中）・地域貢献事業（地域サロン・永

	<p>江フェスティバルへ講師参加)・薬関連「各部署誤薬発生の年間状況確認し対策と啓発実施。看護師会主催の自主研修(フットケアについて)実施。</p> <p>○在宅会議：在宅各サービス事業所責任者が情報共有・提供し地域包括ケアの基盤整理実施(毎月)各サービスの稼働状況を共有し、自サービス以外の紹介により稼働率改善に繋がった。</p> <p>○なんぶ幸朋苑リスク委員会：ヒヤリ・事故についての検討(毎月)、車両スロープ転倒事例、離苑事例について、情報発信と法人内共有を図った。ノーリフティング関連事故について削減に向けた取り組みを行った。</p> <p>○なんぶ幸朋苑エリア研修：職員・新人を対象にキャリア、テーマ別の勉強会実施(毎月)。外部講師による自主研修も実施。全184回開催。</p> <p>○苦情解決第三者委員会：第三者委員に対する定期報告・意見交換会の実施(3回)、対応依頼無し、なんぶ幸朋苑エリアでの事故、軽微なご意見を共有、細かなご意見まで共有している事お褒めあり。</p> <p>○地域交流委員会：ボランティア表彰実施、事業所間にて紹介定着事案増、各事業所行事を共有し余暇活動の交流を図った。</p> <p>○通所事業所にてご利用者/ご家族向け注意喚起(転倒/インフルエンザ/脱水/ノロウイルス)お便り配布(4回/年)。</p> <p>○デイサービスにてサービスプラスワン【地域貢献】活動実施設備の貸し出し、送迎時のゴミだし等、年間で32件実施。</p>
--	---

6 人財状況

<p>外部研修等講師派遣実績</p>	<p>○米子高校2年『生活と福祉』 矢倉・作野・児嶋・佐藤</p> <p>○米子高校1年『高齢者・車椅子体験』原・荒木</p> <p>○米子高校1年『産業社会と人間』児嶋</p> <p>○鳥取大学医学部附属病院・在宅医療推進看護育成研修講師 『看取り研修:地域・在宅での死を考える』 武良</p> <p>○鳥取県看取り研修会 発表者 武良</p> <p>○雑誌投稿 2社(メディカ出版,日総研) 武良</p> <p>○五千石地区・成実地区サロン:石田施設長</p> <p>○YMCA 米子医療福祉専門学校 外部講師 小谷・松本・射場</p> <p>○痰吸引研修・演習講師 12名</p> <p>○介護職員初任者研修 講師 13名</p> <p>○実務者研修 講師 16名</p> <p>○鳥取大学医学部 臨床教授 武良</p> <p>○鳥取大学医学部附属病院 T-HOC 講師 武良</p> <p>○鳥取県西部地区心不全パス準備委員会 役員 武良</p>
--------------------	---

	<p>○鳥取県訪問看護の質の向上を目指す研究会 役員 武良</p> <p>○県主催キャリアパス生涯対応研修（中堅コース）宮永</p> <p>○県主催たん吸引等指導看護師研修 講師 花田</p>
外部役職就任状況	<p>○山陰言語聴覚士協会 理事 児嶋</p> <p>○日本認知症予防学会評議委員 伊藤</p> <p>○米子市地域ケア会議（がいなケア会議）委員 伊藤</p> <p>○米子市認知症対策を考える会（オレンジの会）委員 伊藤</p> <p>○米子市人権教育推進会議課題別部会（高齢者）委員 伊藤</p> <p>○フレイル予防事業立上げプロジェクト委員 伊藤</p> <p>○鳥取大学医学部臨床教授 武良</p> <p>○鳥取大学医学部附属病院 T-HOC 講師 武良</p> <p>○鳥取県西部地区心不全パス準備委員会 役員 武良</p> <p>○鳥取県訪問看護の質の向上を目指す研究会 役員 武良</p> <p>○介護認定審査会審査委員 山崎</p>
外部表彰受賞状況	<p>○全国社協会長表彰（社会福祉施設功労者）： 細田</p> <p>○県社協会長表彰（社会福祉施設功労者）：西岡、瀬尾</p> <p>○県老健協会長表彰： 中村・細田・植田</p> <p>○市社会福祉協議会会長表彰： 美甘、伊澤、中谷、野津、杉原、末次、田村、生田、松浦</p>

7 地域貢献実績（保育所含む）

<p>実習受け入れ実績</p> <p>延人数 813 人</p> <p>実人数 200 人</p>	<p>○鳥取大学医学部 ○鳥取大学医学部保健学科</p> <p>○鳥取看護大学 ○鳥取市医療看護専門学校</p> <p>○米子医療センター附属看護学校</p> <p>○米子北高校看護専攻科 ○鳥取短期大学幼児教育保育学科</p> <p>○在宅医療推進の為の看護師育成プログラム</p> <p>○YMCA 米子医療福祉専門学校(介護、PT、OT)</p> <p>○島根総合福祉専門学校 ○松江総合医療専門学校</p> <p>○島根リハビリテーション学院</p> <p>○平成リハビリテーション専門学校</p> <p>○山陰中央専門大学校こども総合学科</p> <p>○鳥取短期大学生活学科食物栄養専攻 ○訪問看護職員養成講習会</p> <p>○境港総合技術高校 ○米子高校 ○尚徳中学校 ○法勝寺中学校</p> <p>○介護実習科初任者研修 ○職業訓練校 ○鳥取県消防学校</p>
<p>ボランティア受け入れ実績</p> <p>延人数 1,296 人</p>	<p>○大正琴 ○エレクトーン ○フルート ○サクソ</p> <p>○社交ダンス ○学習支援(指導、立会い) ○詩吟</p> <p>○コーラス ○フラワーアレンジメント ○傾聴 ○歌会</p>

	<p>○生け花 ○外出 ○郷土の歴史 ○カラオケ交流 ○喫茶 ○読み聞かせ ○三線 ○俳句 ○腹話術 ○門松作り ○もちつき ○行事手伝い ○生活支援 ○習字 ○音楽療法 ○ふれあいの橋の会 ○有酸素運動 ○バルーンアート ○米子高校茶道部 ○米子高校書道同好会 ○ハーモニカ ○五千五区公民館同好会(フラダンス, 銭太鼓, ひょっとこ踊り) ○成実自治会 ○奥谷自治会 ○奥谷子供会 等</p>
<p>見学受け入れ実績 実人数 204人</p>	<p>○利用見学 ○総務大臣政務官 ○米子高校 ○圏域内4地区民生, 児童委員 ○DCM 中国交流会</p>
<p>地域交流活動実績1 実施回数 70回 延人数 2,694人</p>	<p>(事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業) ○支え愛カフェいしい ○支え愛カフェ永江 ○五千石カフェ ○永江包括支援センター相談室 ○開苑記念夏祭 ○なるみ開苑記念 ○長寿を祝う会 ○五千石小学校交流 ○成実小学校交流 ○奥谷子供会交流会 ○十三夜のタベ ○東みずほ幼稚園交流会 ○成実保育園交流会 ○キッズタウンさくら交流会 ○いしいオープンハウス ○陽だまりごはん</p>
<p>地域交流活動実績2 実施回数 21回 延人数 131人</p>	<p>(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) ○成実保育園夕涼み会 ○さくら保育園夕涼み会 ○いずみ保育園夕涼み会 ○成実地区運動会 ○成実公民館祭 ○永江公民館祭 ○東みずほ幼稚園運動会 ○五千石小学授業 ○いずみ保育園敬老会 ○一斉清掃 ○五千石小学校運動会 ○成実小学校運動会 ○キッズタウンさくら運動会 ○五千石公民館祭 ○成実小学校学習発表会 ○成実保育園クリスマス会 ○さくら保育園お雛祭り会 ○車尾校区民運動会 ○奥谷子供みこし ○車尾カフェ ○皆生トライアスロン応援</p>
<p>ボランティア・環境活動参加実績1 投入人数 309人</p>	<p>(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) ○成実消防団活動 53回延べ77人 ○奥谷一斉清掃 ○日野川一斉清掃 ○五千石一斉清掃 ○奥谷レクリエーション ○車尾一斉清掃 ○中海アダプトプログラム ○米子市一斉清掃 ○奥谷溝掃除 ○成実自治会合同地域清掃</p>